



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年8月15日

上場会社名 株式会社ココペリ
コード番号 4167 URL <https://www.kokopelli-inc.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 近藤 繁

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート事業部ゼネラルマネージャー (氏名) 馬庭 興平

TEL 03-6261-4091

四半期報告書提出予定日 2022年8月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	427	6.8	30	79.4	30	79.3	21	80.5
2022年3月期第1四半期	400		147		147		108	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	2.67	2.63
2022年3月期第1四半期	13.87	13.44

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,102	1,897	89.5
2022年3月期	2,149	1,873	86.4

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 1,881百万円 2022年3月期 1,858百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	21.8	10	97.2	10	97.2	6	97.9	0.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	7,906,230 株	2022年3月期	7,881,730 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	423 株	2022年3月期	423 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	7,885,069 株	2022年3月期1Q	7,792,398 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2022年8月15日(月)に四半期決算補足説明資料を当社のウェブサイトにて公開します。

また、四半期決算補足説明資料を日本取引所グループウェブサイト上の「適時開示情報閲覧サービス」に掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の新たな変異株への警戒感が残る中、勢いを欠く状況で推移し、さらに、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や、急速な円安の進行等により、原材料価格・エネルギー価格の高騰、物流コストの上昇、これらによる商品価格の上昇に伴う個人消費停滞への懸念等もあり、先行きは不透明な状況が続いております。

そのような状況下、当社は、中小企業向け経営支援プラットフォーム「Big Advance (ビッグアドバンス)」を提供し、日本全国の地域金融機関と連携し、各金融機関の取引先の中小企業に対して、課題解決や成長支援につながるソリューションを提供しております。

当社が提供する経営支援プラットフォーム「Big Advance」は、オンラインにて、地域を超えた全国の企業とのビジネスマッチング、ホームページ作成、社内コミュニケーションツールとしての社内チャット及び全国の補助金・助成金の情報の提供などを通じて中小企業のDX(デジタルトランスフォーメーション)の実現を支援しております。

また、2022年5月には株式会社CAMPFIREとの提携を開始致しました。本提携により「Big Advance」にクラウドファンディング機能を追加し、「Big Advance」の会員企業に新たな資金調達手法や販路拡大の機会を提供しております。

この結果、「Big Advance」を導入する金融機関数及びその顧客である中小企業会員数は、2022年6月末時点の導入金融機関数83社、会員企業数71,185社となりました。

一方、当事業年度は中期経営計画で示した通り、ユーザー数拡大や顧客単価向上のための新機能・新サービス開発等の成長投資を行うこととしており、積極的な人材採用や新規開発を実施してまいりました。

当第1四半期累計期間の売上高は427,429千円(前年同期比106.8%)となり、営業利益は30,319千円(同20.6%)、経常利益は30,391千円(同20.7%)、四半期純利益は21,043千円(同19.5%)となりました。

なお、当社はビジネスプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産合計は、前事業年度末に比べて55,185千円減少し、1,832,978千円となりました。これは主に、営業活動に関わる支出の増加により前払費用が21,223千円増加した一方で、未払法人税等、未払消費税等の納付により現金及び預金が60,808千円減少したこと、及び敷金の返還等により未収入金が16,109千円減少したことによるものです。

固定資産合計は、前事業年度末に比べて7,522千円増加し、269,043千円となりました。これは主に、「Big Advance」の開発費用として無形固定資産が14,293千円増加した一方で、債権の回収により長期未収入金が3,108千円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べて72,466千円減少し、204,161千円となりました。これは主に、未払消費税等が22,258千円減少したこと、及び未払法人税等が53,402千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べて24,803千円増加し、1,897,860千円となりました。これは主に、四半期純利益21,043千円を計上したことに加え、株式報酬費用の計上により新株予約権が2,027千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、中期経営計画を作成し、成長のための投資を先行して行うことで、ユーザー数の拡大と新機能・サービス開発による顧客単価の上昇、新事業による売上高成長率の加速、利益率を向上させ、一層の企業価値向上を目指しております。

2023年3月期は、新機能・サービス開発のためのエンジニア採用及び開発外部委託の増加、及び金融機関サポート強化のための営業やCS人材の採用を引き続きするため、人件費、採用費及び外注費が増加する見込みです。

当第1四半期累計期間においては、営業利益は出ているものの、今後上述の費用が増えてくる見込みであることから、2023年3月期業績予想は、2022年5月16日に公表しました通り、売上高2,000百万円、営業利益10百万円、経常利益10百万円、当期純利益6百万円と予想しております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響及びロシア・ウクライナ情勢の影響につきましては、先行き不透明な状況であり、上記の見通しに直接的・間接的に影響を及ぼす可能性があります。また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,745,041	1,684,232
売掛金及び契約資産	100,625	101,137
前払費用	11,290	32,514
未収入金	32,484	16,375
その他	128	132
貸倒引当金	△1,406	△1,413
流動資産合計	1,888,163	1,832,978
固定資産		
有形固定資産	97,201	95,914
無形固定資産	75,088	89,382
投資その他の資産		
投資その他の資産	90,199	84,715
貸倒引当金	△968	△968
投資その他の資産合計	89,231	83,746
固定資産合計	261,521	269,043
資産合計	2,149,685	2,102,022
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	73,120	19,718
その他	203,506	184,443
流動負債合計	276,627	204,161
負債合計	276,627	204,161
純資産の部		
株主資本		
資本金	808,284	809,150
資本剰余金	782,584	783,450
利益剰余金	267,555	288,598
自己株式	△136	△136
株主資本合計	1,858,286	1,881,062
新株予約権	14,770	16,798
純資産合計	1,873,057	1,897,860
負債純資産合計	2,149,685	2,102,022

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	400,052	427,429
売上原価	119,742	196,863
売上総利益	280,310	230,566
販売費及び一般管理費	133,309	200,246
営業利益	147,000	30,319
営業外収益		
受取利息	0	1
その他	11	70
営業外収益合計	12	71
経常利益	147,012	30,391
特別損失		
固定資産除却損	—	61
特別損失合計	—	61
税引前四半期純利益	147,012	30,330
法人税等	38,965	9,287
四半期純利益	108,047	21,043

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。